10:00~16:00 見学無料

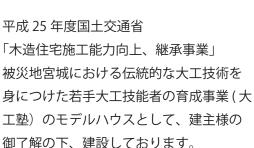
2/23 [日] 場所: 宮城県仙台市若林区三本塚字中谷地 26-3

三本塚の家復興現場見学会

上記の日程で建主様の御厚意と、大工塾関係者の皆様の御協力により 現場見学会を開催させていただくことになりましたので、御案内申し上げます。









この住宅の監修・基本計画は、住まい・まちづくり支援ボードの岩田 司先生(独立行政法人建築研究所)、阿部利広氏(阿部建築研究所)、 奥田徹氏 (地域住宅工房奥田設計室)が行っている。

また、復興まちづくり支援のコーディネーターを務める、東北工大・ 新井信幸氏とも連携・協力して頂いております。

この住宅は、極めて高い断熱気密性能 (Q値 1.6以下、C値 1.0以下が 目標)をもち、床下に熱源を設置し、室内空気を循環させる画期的な「地 域型木造住宅のモデルハウス」としてまとめられた。床下暖房システ ムについては、YUCACO システム研究会の廣石和朗氏、櫻井良一氏が 技術的な支援を行っている。

物件概要

1 階床面積 79.49 ㎡ (24 坪) 2 階床面積 49.68 ㎡ (15 坪) 延べ面積 129.17 ㎡ (39 坪) 建築面積 92.76 ㎡ (28 坪)

「地域型木造住宅のモデルハウス」をコンセプトとし、極めて高い断熱気密性能・室内空気の循環性能を重視し基本設 計がまとめられました。

木組みを見せる伝統工法でありながら、北海道の次世代省エネルギー基準(宮城基準の1.5倍)を満たす断熱性能確保 (Q値 1.6以下、C値 1.0以下)を目指しています。

木材はすべて金山杉。材を刻んだ金山大工が建て方まで行い、後は地元の荒木棟梁が施工する二段階施工方式を採用し ています。

間取りは広間中心型とし、限られた面積の中で、吹き抜けを支え、どこからでも見える大黒柱がこの家のシンボル。